

学校だより

3月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和三年二月二十六日

令和二年度を振り返って

校長 吉野 達雄

未曾有の災害である新型コロナウイルス感染症は、私たちから平和な日常を奪いました。学校は休校になり、再開されても様々な活動が縮小・中止になり、例年とは違った学校生活になりました。では、このことよって子供たちの健全な成長は妨げられたのでしょうか。報道では、運動する時間の減少やステイホームによるストレスなどが成長に影響すると言われています。しかし、白金小の子供たちは、今できることをしっかり考え、目の前の課題を解決しようと努力してきました。心身ともに大きく成長したことを私たち教職員は実感しています。家庭でもぜひ一年を振り返って、子供たちをはじめとした私たちのさらなる成長につながる新年度を迎えましょう。保護者・地域の皆様においては、学校教育に対するご理解・ご協力いただき、教職員一同感謝申し上げます。

【ボルダリングがやってきた】

ピロティの壁にボルダリングをつけました。ボルダリングは、オリンピックの新種目になっており、今、大変注目されています。握力がつくのはもちろんのこと、バランス、柔軟性、全身筋力が高まる素晴らしい運動です。白金小の子供たちの体力向上に大きな期待が出来ます。子供たちにも非常に好評で、順番を守りながらボルダリングを楽しんでいました。

【幸風の鐘（さちのかね）の音を聴きながら】

本校では、朝会で幸風の鐘を聞き、一週間の目標を立てることになっています。この鐘は大正時代から使われていて、以前は「平和の鐘」と呼ばれていたそうです。開校百十周年のときに、幸せの風が吹き渡るようにという思いを込めて、今の「幸風の鐘」という名前になりました。平和で幸せな世の中になることを願っています。



クラブ活動と六年生を送る会

特別活動部 坂 愛

白金小学校には、バドミントン・卓球・科学実験・家庭科・パソコン・日本文化・ボードゲーム・屋外スポーツ・図工・球技まんがイラスト・器楽の十二のクラブがあります。四年生以上が参加し、月一回活動しています。今年度はコロナ禍の中、開始が十月になりましたが、六年生のクラブ長を中心に工夫して活動しています。二月には、来年初めてクラブ活動を行う三年生に向けてクラブ紹介動画を撮影しました。やりたいことが似ている仲間が集まって活動するクラブは、個性を發揮できる素敵な場となっています。

六年生を送る会も今年度は動画で行います。六年生の一年間の取り組みを紹介するビデオを見た後、各学年が工夫を凝らしたお礼の動画作りに取り組みしました。メッセージあり、踊りありの楽しい企画となっています。この行事を通して、このような状況でも、最高学年としてしっかりと活動した六年生に感謝の気持ちを表す機会がもてました。



白金小学校
Twitter



学校 HP からも
入れます。